

令和8年度地域内景況感調査アンケート結果報告①

【調査結果について(N=30)】

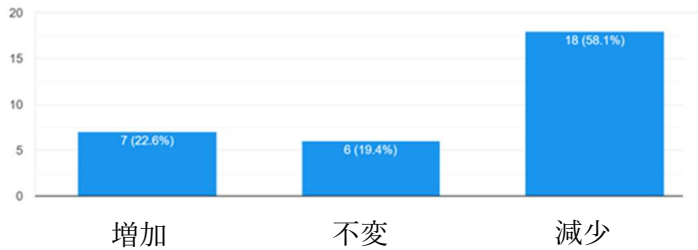
令和8年4月～5月に行った地域内景況観調査アンケートの結果を報告します。

今回の調査では、83.9%の事業所が仕入単価の「上昇」に直面する一方、販売単価を「上昇」できた事業所は32.3%にとどまりました。過半数を占める販売単価「不変」(51.6%)は価格転嫁の限界を示唆しています。特筆すべきは半数(50%)の事業所で売上が「減少」している点です。この背景には、価格引き上げに伴う顧客の買い控えを始めとした物価高騰の影響による販売減に加え、28.6%の事業所が抱える労働力の「不足」に起因する受注機会の損失も影響していると推測され、結果として71%で採算が「悪化」する危機的な状況です。さらに、90.3%がエネルギー費用、87.1%が調達状況に関して経営に「影響している」と回答し、急激な物価高が事業活動を直撃しています。

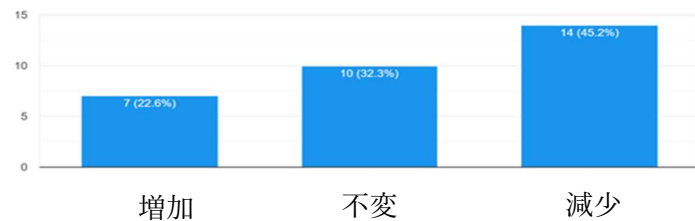
事業所の自助努力による対応はすでに限界を迎えており、今後は顧客離れを防ぎながらの粘り強い「価格転嫁」の推進が不可欠です。あわせて、人手不足下でも収益を確保するための業務効率化・省力化など、地域企業の存続を懸けた多角的な収益向上策の展開が急務と考えられます。

1. 景況感について

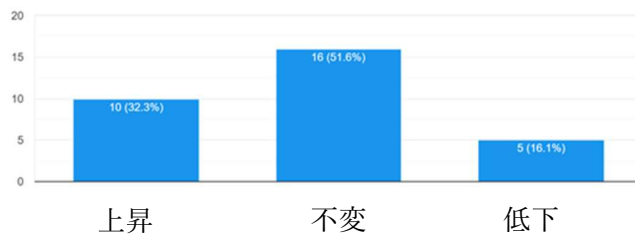
(1) 売上高



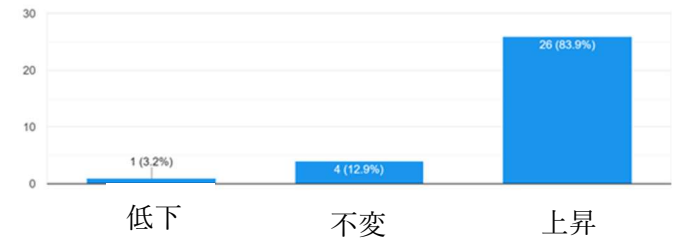
(2) 販売（受注）数量



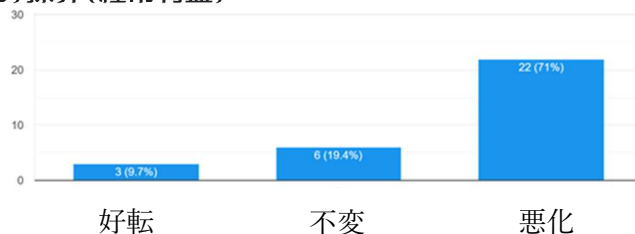
(3) 販売（受注）単価



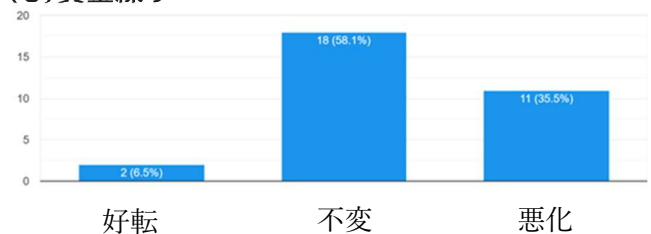
(4) 原材料・商品仕入単価



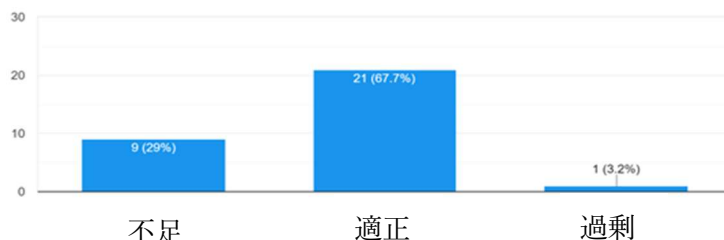
(5) 採算（経常利益）



(6) 資金繰り



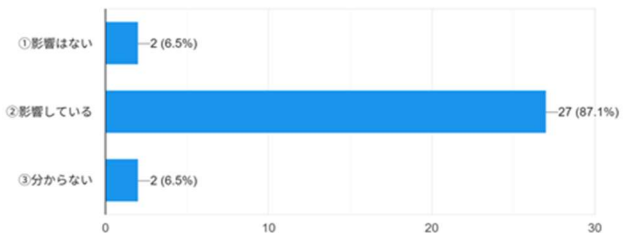
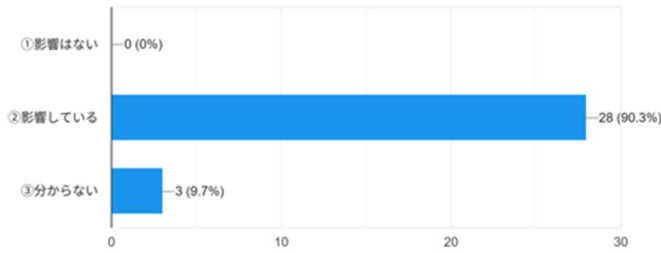
(7) 労働力確保状況



2. エネルギー情勢（中東情勢等）の変化に伴う経営への影響調査

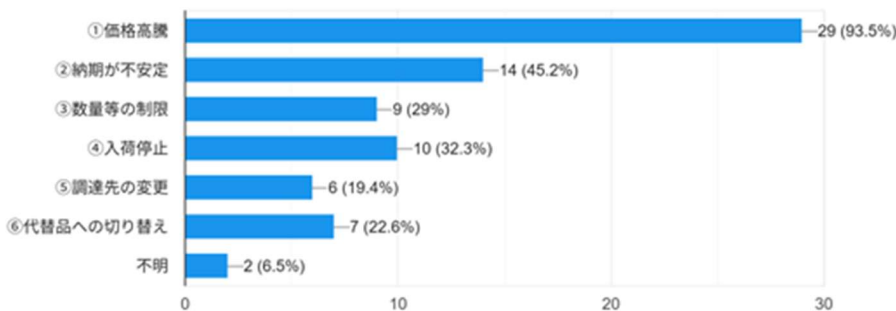
設問1 エネルギー費用は経営に影響していますか？

設問2 原材料等（商品・消耗品等含む）の調達状況に影響はありますか？



設問3 設問2で影響していると回答された方へ、どのような影響がありましたか？

（複数回答あり）



令和8年度 地域内景況感調査アンケート①

南三陸商工会では、定期的に地域内の景況等を把握し、今後の経営支援や行政への要望等に役立てるためアンケート調査を実施致しております。

大変お忙しいとは存じますが、本調査にご協力を頂き、令和8年5月15日（金）まで回答フォーム（Google フォーム）にてご回答頂けますようお願い致します。

「こちらのQRコードをスマートフォンのカメラ等で読み込みご回答下さい。」



2. エネルギー情勢（中東情勢等）の変化に伴う経営への影響調査

（該当する□にチェックをご記入ください。）

設問1 エネルギー費用は経営に影響していますか？

①影響はない ②影響している ③分からない

設問2 原材料等（商品・消耗品等含む）の調達状況に影響はありますか？

①影響はない ②影響している ③分からない

設問3 設問2で影響していると回答された方へ、どのような影響がありましたか？

（複数回答可）

①価格高騰 ②納期が不安定 ③数量等の制限
④入荷停止 ⑤調達先の変更 ⑥代替品へ切り替え
⑦その他（ ）

3. ご意見・ご要望等をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

回答事業所名

1. 景況感等についてお尋ねいたします。
 昨年の今頃と比べた現在の経営環境等の状況について、該当するもの1つに○を付けてください。

【景況感】

	良い ← → 悪い		
売上高	1. 増加	2. 不変	3. 減少
販売（受注）数量	1. 増加	2. 不変	3. 減少
販売（受注）単価	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
原材料・商品仕入単価	1. 低下	2. 不変	3. 上昇
採算（経常利益）	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
資金繰り	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【労働力】

	少ない ← → 多い		
労働力確保状況	1. 不足	2. 適正	3. 余剰